

近 未 来 の  
常 識 を 作 る  
佐 賀 県 の

「全 国 初」



2014.12.3 オープンデータシンポジウム2014

佐賀県最高情報統括監 森本登志男

**佐賀県の全国初！**

# 救急搬送の情報革命

～iPadが命を救う～



BEFORE

救急病院に電話をかけ続ける



AFTER

iPadで即座に情報を確認

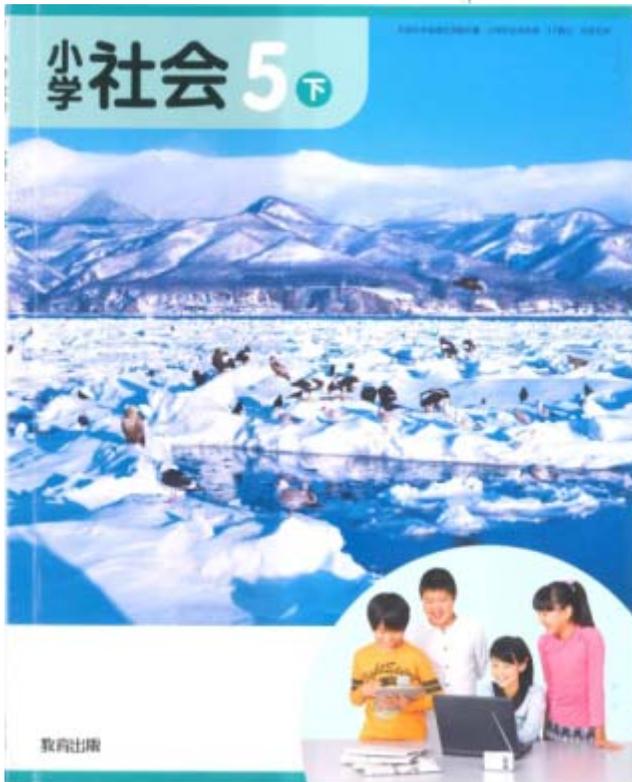
ICT技術の活用で、救急搬送時間を  
1分短縮！（34.3分→33.3分）





# 99さがネットの取組が教科書に採用

教育出版  
平成27年度  
小学5年社会(下)



患者を選び入れる病院を調べる教員  
タブレット型のコンピューターを使っています。

表示された画面

## 命を守る情報ネットワーク

病院で使われているほかにも、患者の健康や命を守るために役立つ情報ネットワークはあるのでしょうか。全国的に救急車の出動回数が増えているなかで、佐賀県では、救急の患者を病院へ運ぶときに、どの病院から受け入れることができるか、教員がすぐに調べることができる情報ネットワークをつくっています。

## 救急隊員の話

患者さんの病気やけがが...  
救急車に設置して...  
ある病院の情報をす...  
ができるよりも、1分...  
だけ早く...  
現場では、1分でも早い...



各病院の救急の情報を伝えるウェブサイト



夜中に子どもが  
高熱を出したときに、  
夜でも診察している  
近くの病院をすぐに  
調べることができて、  
助かりました。



国産の車の技術と  
同じように、  
自分たちも病院を  
さがしやすく  
なっているんだね。

また、佐賀県では、医療に関わるさまざまな情報を伝えるウェブサイトも設けています。病院が開いている日時、内科・外科などの科目、病院のある地域など、自分がさがしている条件に合った病院をすぐに見つけられるようにして、病院での診察を受けやすくしています。このウェブサイトは、インターネットを利用すれば、いつでもどこでも見ることができます。



## けんちよう いむか えんじようじ 県庁の医療課の円城寺さんの話

情報ネットワークを通じたつながりができたことで、より早く、より正確に、それぞれの患者さんに合った医療を県全体で進めることができます。一方で、情報ネットワークを生かしていくためには、機械が故障しないように整備したり、使い方をまちがえないように手助けしたりすることも大切です。

# 佐賀県発、全国に広がる ～パーキングパーミット～

## 身障者用駐車場 利用証



## 身障者用駐車場看板

### 身障者用 駐車場 Parking Permit



この身障者用駐車場は、佐賀県発行の身障者用駐車場利用証(パーキングパーミット)を、お持ちの方が利用できます。

施設管理者名



協力施設

1767施設  
(県内)

相互利用

31自治体



# 県立高校へのICT利活用教育導入

## 電子黒板



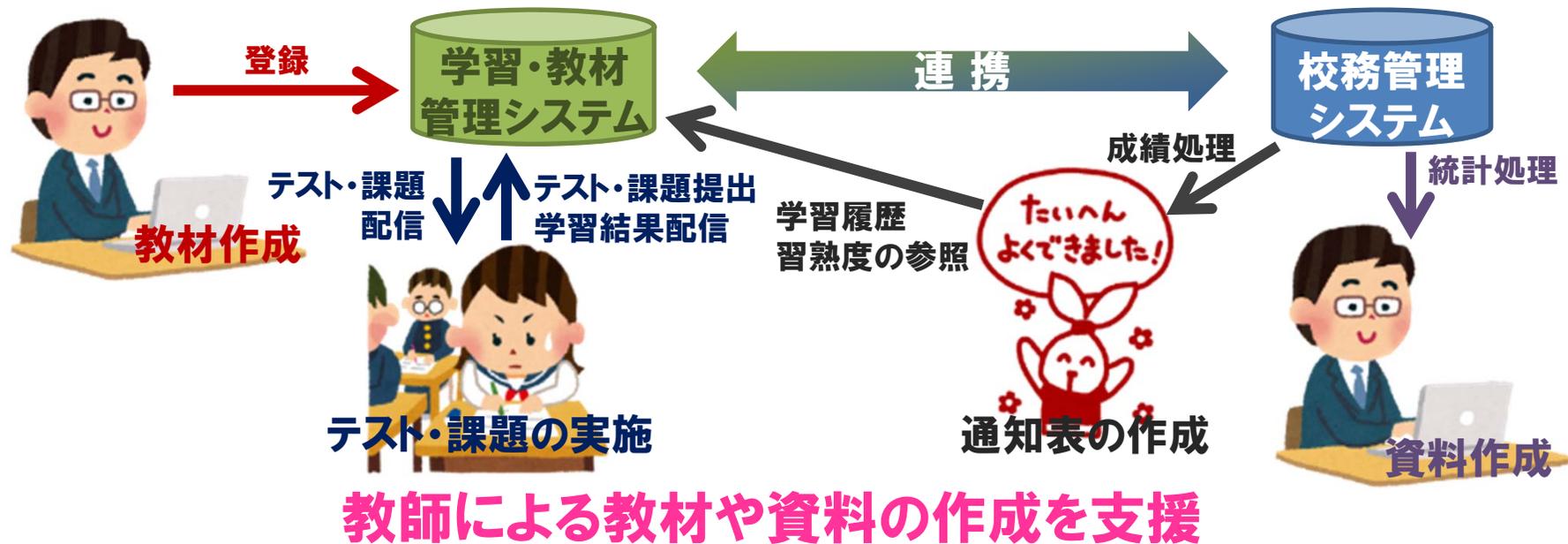
昨年度から全教室に導入

## タブレットPC



今年度から全生徒に導入  
(高校1年生から)

## 学習・教材・校務管理のシステム化



# 新しい行政のカタチ、世界へ

## ～日本初、国連公共サービス賞受賞～



### 協働化テスト

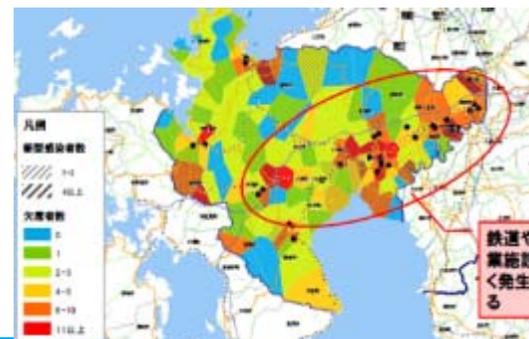
県民総合窓口運営委託



来場者数50%増↑  
相談件数80%増↑

### 共同研究

インフルエンザの感染状況を地図化



# 佐賀県庁「どこでもオフィス」の実現

勤務所属



一人1台PC

外出先



モバイル端末導入

ICT基盤の整備

庁内システムへのアクセス

コミュニケーションツール

写真動画送信・共有

プレゼンテーションアプリ

WEB会議システム

自宅



リモートアクセス

サテライト・オフィス



県内外13か所設置

今年10月から県庁全職員(3000名)がテレワークを実施可能に

# 動画で情報発信

## ①恋するフォーチュンクッキー (AKB48)



自治体で最初に動画を公開。  
インターネットで話題を呼んで、テレビや新聞でも紹介されました！



Play count  
Over 220  
Million times



# コラボによる情報発信

## ① ロマンシング佐賀

<http://romasaga.jp/>



# Facebookページ 「佐賀県最高情報統括監室」



★★★★★  
いいね！1,131件  
チェックイン1件

「全県的なフリーWi-Fi環境の整備」、  
「テレワークの推進」など、佐賀県の  
ICT利活用の取組情報などをお届けし  
て参りますので、是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/saga.cio.team>

佐賀県のICTの取り組みを全国  
に情報発信するために平成26年  
6月6日にFacebookページ「佐  
賀県最高情報統括監室」を開設

佐賀県ICT利活用推進事業の紹介動画

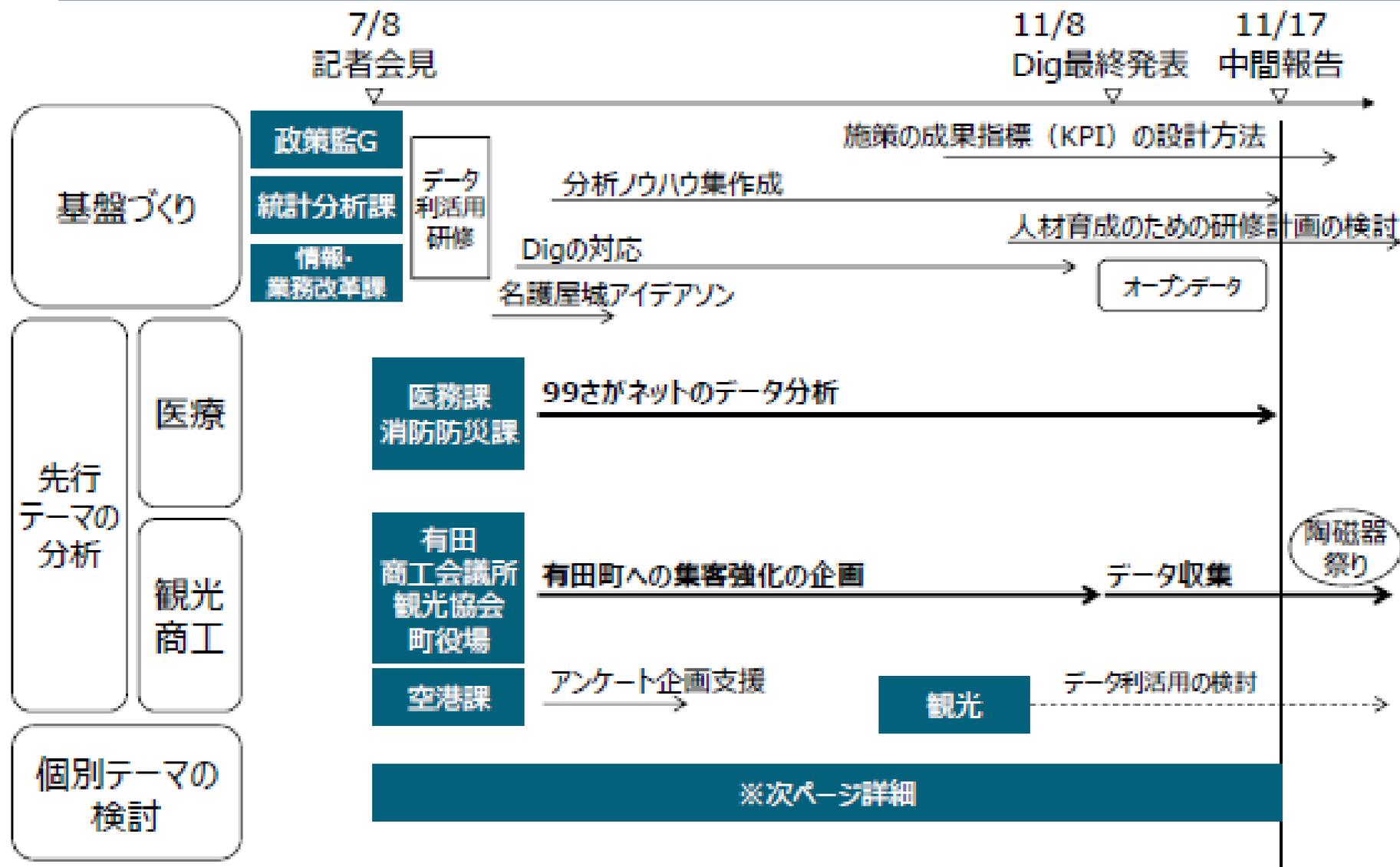


投稿 いいね総数 約8,000件  
リーチ総数 約90,000件

10月  
末現  
在

# ビッグデータ オープンデータ

# Do-iT！プロジェクトの進捗状況（2014年度）



## 主な個別テーマの課題と対応状況

本部	No	課	主な課題	対応状況
統括	1	政策監G	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画施策KPIの設計方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> </ul>
	2	情報・業務改革課	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンデータ</li> <li>Facebookアクセス分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> <li>実施済</li> </ul>
	3	消防防災課	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災GISの構想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> </ul>
くらし環境	4	まなび課	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもプログラミング教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> </ul>
	5	世界遺産推進室	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重津海軍所跡来訪者増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜対応</li> </ul>
	6	名護屋城博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜対応</li> </ul>
健康福祉	7	地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員のなり手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜対応</li> </ul>
	8	医務課（・消防防災課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送時間の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> </ul>
	9	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝炎検査・受診率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後着手</li> </ul>
	10	薬務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険ドラッグ関係ネット監視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(調整中)</li> </ul>
農林水産商工	11	商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の経営改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(調整中)</li> </ul>
	12、13	観光戦略G、おもてなし課	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ利活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(調整中)</li> </ul>
	14、15、16	有田商工会議所、観光協会、役場	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の動態把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> </ul>
県土づくり	17	空港課	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート項目改善支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施済</li> </ul>
経営支援	18	統計分析課	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析ノウハウの蓄積</li> <li>職員研修による人材育成 (様々な業務(分析レベル)に応じレベル毎に研修を実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応中</li> <li>今後着手</li> </ul>

# 主な情報発信 (2/2)

ニュース

日経コンピュータ

## データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化——佐賀県の工藤氏が講演

都道府県CIOフォーラム第12回年次総会

2014/08/29

本欄 藤裕 = 日経コンピュータ (筆者執筆記事一覧)

記事一覧へ >>



シェア



ツイート



B! ブックマーク

8月25、26日に佐賀市で開催された都道府県CIOフォーラム第12回年次総会で、佐賀県Do-IT！プロジェクト責任者の工藤卓哉氏（アクセンチュア アナリティクス 日本統括マネジングディレクター）が、行政の現場におけるデータサイエンスの活用について講演した（写真）。



写真 ● 佐賀県Do-IT！プロジェクト責任者の工藤卓哉氏  
[画像のクリックで拡大表示]

工藤氏が佐賀県のプロジェクト責任者の部が「アセンチュア」の口をいふ。トマ、以他事

佐賀県 救急車の効率運用

横須賀市 税

# データ活用で自治体

「データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化——佐賀県の工藤氏が講演」

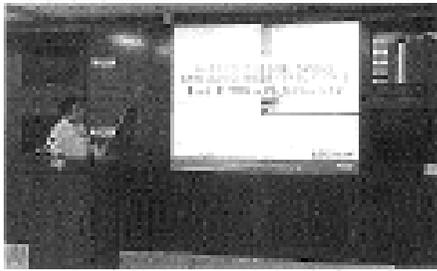


「データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化——佐賀県の工藤氏が講演」

## 次の施策検討する材料

「データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化——佐賀県の工藤氏が講演」

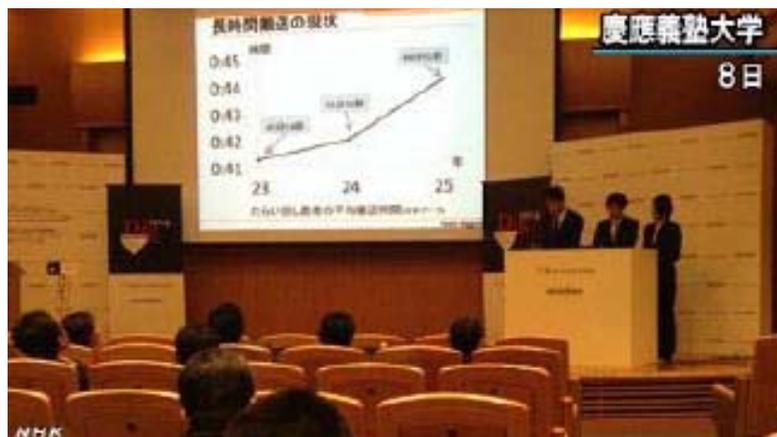
## 大量データの活用



大量データの活用に関するスクリーンショット

「データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化——佐賀県の工藤氏が講演」

# データビジネス創造コンテスト「DIG」



高校生や大学生が、自治体が公開した「オープンデータ」などを使って、地域課題を解決するアイデアを競うコンテストが開かれ、医療機関が処方した薬を記録した「おくすり手帳」の情報を簡単に管理できるアプリを開発した佐賀大学大学院のチームが最優秀賞に選ばれました。

このコンテストは、慶應義塾大学SFC研究所などが主催したもので、8日、慶應義塾大学の三田キャンパスで、書類審査による一次選考を通過した高校生や大学生など合わせて10チームがプレゼンテーションを行いました。

各チームは神奈川県、佐賀県、福島県会津若松市、千葉県流山市、福井県鯖江市が公開した「オープンデータ」などを使って、観光、医療、教育、少子高齢、産業の5つのテーマから具体的な地域の課題を選び、解決のためのアイデアを発表しました。

## 学生がオープンデータでアイデア競う

デジタル・ネイティブ世代がデータ分析で自治体の課題解決

2014年11月11日 09時00分 更新

## オープンデータで救急搬送も早くなる？ デジタルネイティブ世代が政策提案

慶應義塾大学が「データビジネス創造コンテスト」を開催、アクセントチャアが協力した今年も、オープンデータを活用し、自治体の課題を解決する斬新な政策提案を競った。最優秀賞には、佐賀大学大学院 Team Suggestの「救急搬送プロセスの向上」が輝いた。

[浅井英二, ITmedia]

印刷/PDF

ツイート 25

チェック

通知

3部構成・「後悔しないプライベートクラウド基盤の作り方」

小室淑恵氏に聞く、生産性を上げ、結果を出す仕事術

慶應義塾大学SFC研究所データビジネス創造・ラボは11月8日、第2回目となる「データビジネス創造コンテスト」を開催した。「Digital Innovators Grand Prix (DIG) 2014」という愛称にも込められたように、デジタルネイティブ世代の高校生や大学生が、データを広く深く「DIG」（掘る）して、新たな知の抽出や価値の創出を競うコンテストだ。

## 全国から応募のあった47チームの中から、佐賀大学大学院 チームがグランプリとなる最優秀賞を受賞！



○佐賀県へ政策提言した3チームの審査結果。

- ・最優秀賞:オープンデータの分析による救急搬送プロセスの向上  
(佐賀大学大学院チーム)
- ・審査員特別賞:緊急搬送における時間短縮に向けた救急車等の効率配置  
(東京大学大学院チーム)
- ・入賞:有田焼創業400年に平均年齢19歳が挑む  
(慶應義塾大学・京都造形芸術大学・県立有田工業高校の混合チーム)



**佐賀県が全国初で行った救急車でのiPad活用で得た10万件を超える詳細な搬送データを基に、搬送時間の短縮を提言。また、唐津市消防本部のご厚意で救急指令室なども視察した「現場主義」での政策提言が高い評価を得た。**

バーチャル名護屋城事業

# 名護屋城 2014 アイディアソン

Nagoyacastle ideason 2014

肥前名護屋城のデータから

新しい世界を開拓する



佐賀駅から名護屋城まで、  
貸切バスを準備します（往復）

9:00 佐賀駅北口発→10:30 唐津駅南口発  
→11:00 名護屋城着予定です

参加申し込み時に  
ご連絡ください

# 収蔵品や地形などのオープンデータを使いアイデアソンを開催！



**まずはスモールサクセス！！  
データ利活用の機運を高める。**



新しいものを生み出すことで  
社会がいい方向に変わっていく。  
そんな地域になりたい

新しいものを生み出す風土

佐賀県庁 Ver.



ご清聴ありがとうございました。